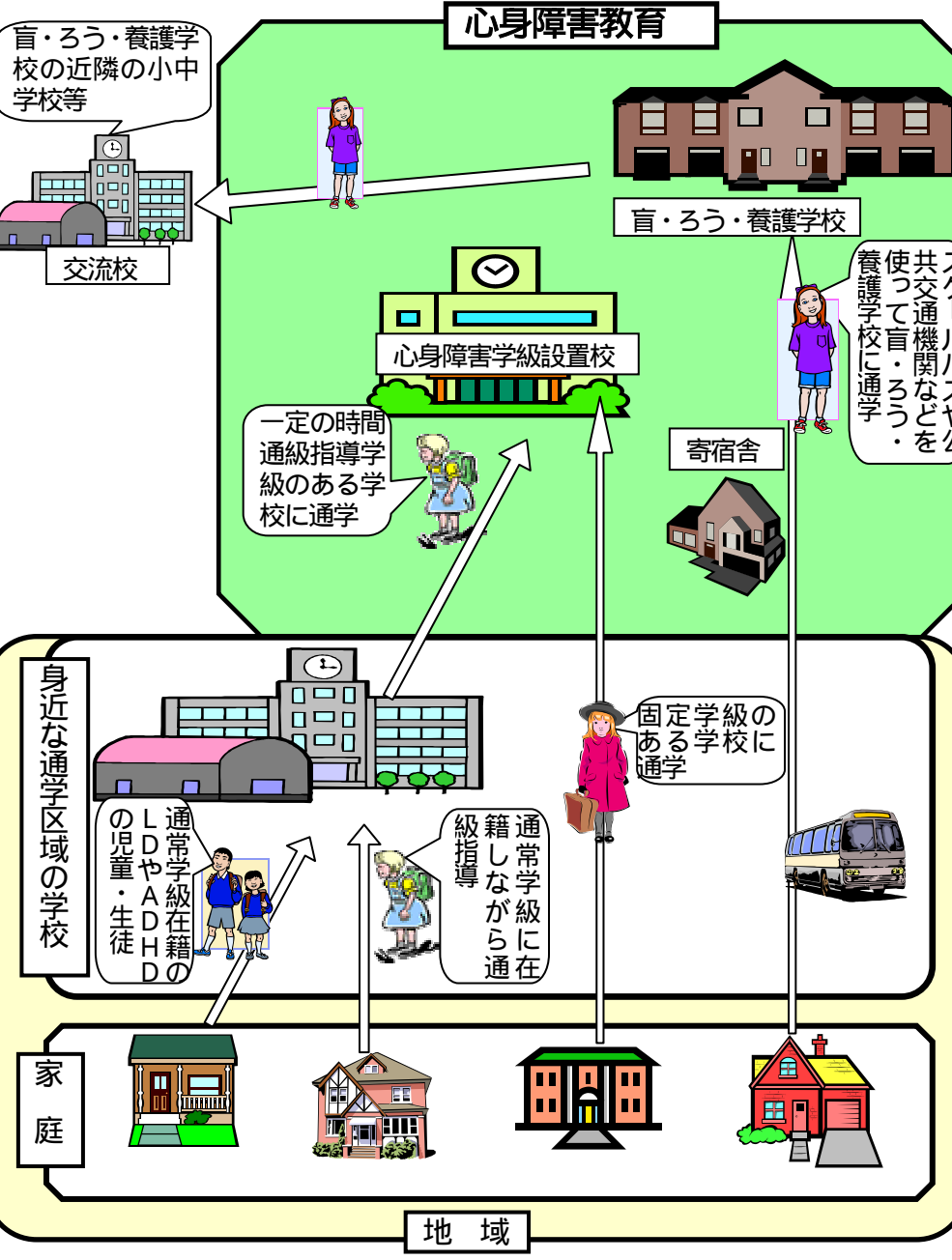


一人一人のニーズに応じた教育の展開をめざして（全体イメージ図）

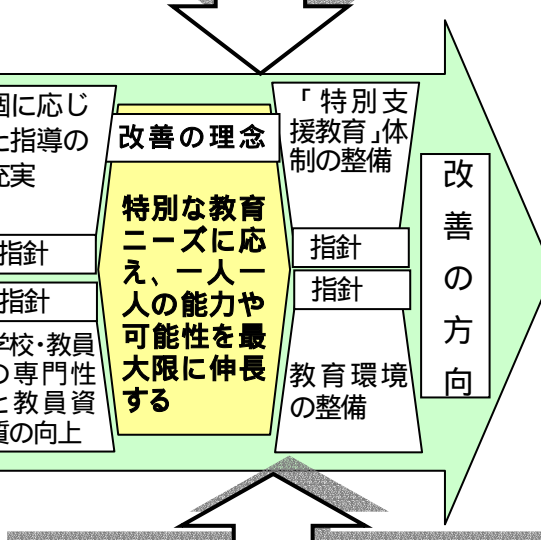
現状の心身障害教育

心身障害教育の対象者	盲・ろう・養護学校	盲学校 4校 知的養護学校 30校1分 肢体不自由養護学校 14校 病弱養護学校 2校 区立養護学校 5校	ろう学校 8校	7,676人
	小中学校	固定学級 783学級 通級学級 366学級		8,045人



- 盲・ろう・養護学校の課題**
 - 障害の重度・重複化
 - 障害の多様化
 - 盲・ろう学校の在籍者減
 - 知的養護学校の在籍者増
 - 教員の資質・専門性向上
 - 早期教育の支援体制
 - 肢体不自由校の通学負担
 - 乳幼児期からの一貫した支援
 - 多様なニーズに応じた教育推進
- 小中学校の課題**
 - 心身障害学級の集中・多様化
 - 地域と結びついて専門的教育
 - 心身障害学級担任の専門性向上
 - 校内体制の充実

心身障害教育の課題など



心身障害教育を巡る諸情勢の変化

- ノーマライゼーションの進展**
医療・科学技術の進歩
- 対象の変化**
小中学校の通常の学級に在籍するLDやADHD、高機能自閉症などの特別な支援を要する児童・生徒への対応
- 国の動向**
現在の「特殊教育」からLD等の特別な支援を要する児童・生徒（6.3%）を合わせた「特別支援教育」へ転換

今後の「特別支援教育」の在り方

